

坂本精工 株式会社

高精度の切削工具の 短納期対応で取引先を拡大

- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



オーダーメイドの超硬特殊切削工具の開発・製造を手がける

主な事業内容	主な取引先(納入先)	主な製品
超硬特殊切削工具の開発・製造・販売	自動車部品メーカー、航空機部品メーカー、半導体製造装置部品メーカーなど	超硬ドリル、超硬エンドミル、超硬リーマ、バニシングリーマなど特殊工具

業務内容 ソリッド工具に特化し 150社と取引

坂本精工は、自動車や航空機、医療機器、電子部品などの製造で必須の超硬工具の開発・製造を手がける。オーダーメイドでのオール超硬素材の工具(ソリッド工具)に特化し、かつ短納期対応により国内外で約150社との取引実績がある。また、ドリルやリーマ、エンドミル、バニシングドリルなど多様な工具を扱ってきた経験を生かし、オリジナル商品の開発にも注力する。

創業は平成2年2月。当初から「圧倒的なスピード経営」を掲げ、従業員が「物心両面」で満足できることをめざしてきた。令和元年には生産設備のロボット化を推進することで生産性を大幅に向上させ、残業時間の削減ならびに休日日数の増加につなげた。

強み 最短で翌日納品の実績

切削工具業界においてオーダーメイド品の納期は平均45日程度とされる。これに対し、同社は平均20日程度で納品する。これを可能にしている要因は主に三つ。一つ目は、超硬材料を豊富に保有していること。二つ目は設計スピードの早さ。そして、三つ目が製造現場に

おける納期への意識の徹底。注文書が届くと5分後には製造を開始することができ、最短で翌日に納品した実績もある。このスピードが同社の最大の強みだ。

また、顧客満足度の向上につながる取り組みも進めている。令和元年から独自開発の生産管理システムの運用を開始し、受発注漏れの解消や的確な工程管理を可能とした。令和5年にはマシニングセンタによるテスト加工サービスを開始し、適切な加工条件や刃形状の提案により顧客の信頼獲得につなげている。こうした顧客対応も同社の強みである。

新設備 さらなる 短納期対応に挑む

令和6年からは、顧客対応および短納期対応をさらに強化している。11月にはホームページをリニューアルし、顧客の様々な悩みや疑問に答える動画を掲載。わかりやすさが評判となっている。また、12月にはANCA社の最新鋭CNC研削盤「MX-7ウルトラ」を導入。従来以上に高精度な切削工具の製造が可能となったうえ、ロボット搭載型システムにより、さらなる短納期対応が期待される。今後も「圧倒的なスピード経営」のもと、最新設備の導入と技術力の向上により、さらなる短納期対応に挑み続ける。

社長あいさつ



代表取締役
坂本 泰昭さん

創業以来、「圧倒的なスピード経営」と「真摯なものづくり」を心がけ、34年が経過しました。今後は50周年に向けて新たな企業理念を掲げ、これまで以上に品質・コスト・納期で満足いただけるよう精進します。そして、お客様の生産性向上に大いなる貢献ができるよう努めます。

主な保有設備

- NC工具研削盤 MX-7 ANCA製 3台
- マシニングセンタ VCN-430A ヤマザキマザック製 1台
- 全自動工具測定機 genius 3S ZOLLER製 1台
- 鏡面ショットマシン SMAP-2型 東洋研磨材工業製 1台
- NC工具研削盤 TGR-200 宇都宮製作所製 1台



住 所 / 〒581-0815
八尾市宮町
5-6-48
T E L / 072-924-4872
F A X / 072-924-4875
創 業 / 平成2年2月
設 立 / 平成8年2月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 12名



量産工具も短納期対応を実現



高精度超硬エンドミルは切れ味が良いと評判



<https://www.sakamoto-seiko.com/>